

第47回全国高等学校選抜優勝大会愛知県大会(第4回ALL AICHI)

男子決勝

試合日	2016年11月6日
会場	北スポーツセンター
コート	KC コート
開始時間	13:00

TEAM A		TEAM B
中部大第一 (1位シード)	93	桜丘 (2位シード)
23 - 24		
29 - 13		
25 - 14		
16 - 13		
	OT	

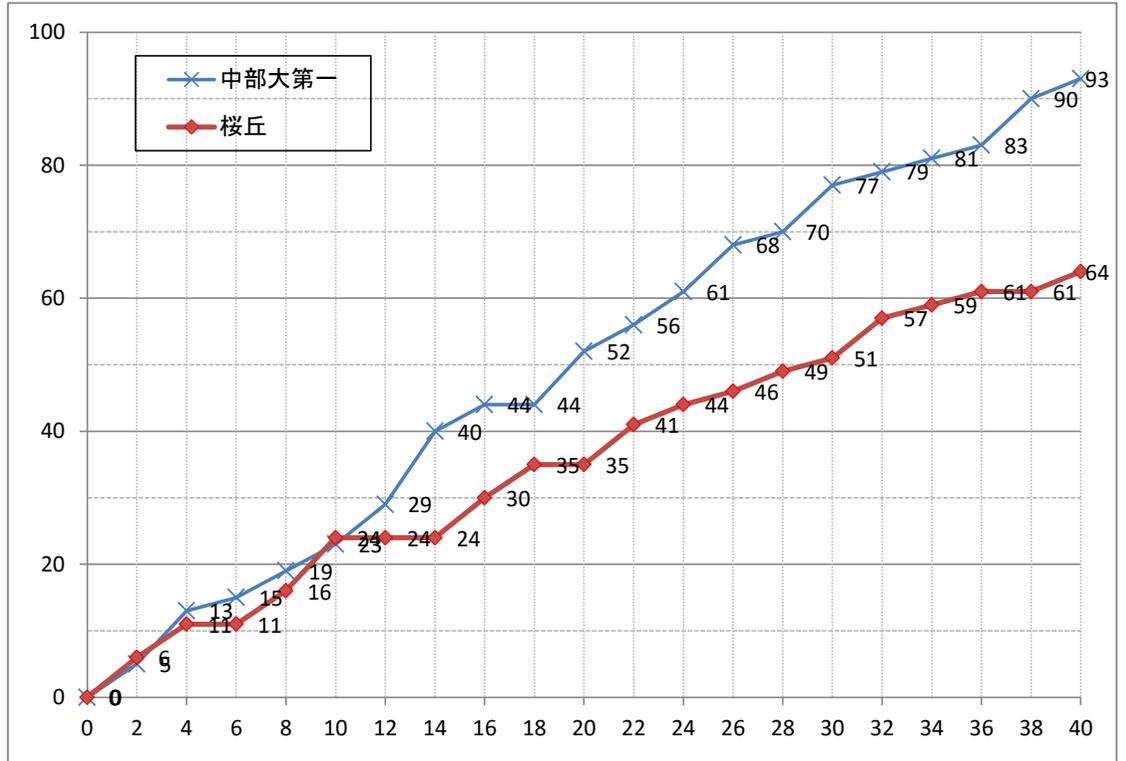
TEAM A 中部大第一 (1位シード)

No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	上澤 俊喜	17	1	7	0	1
5	*	ディクソンジュニアタリキ	16	0	8	0	4
6		小川 元暉	8	0	4	0	0
7	*	星野 京介	13	3	2	0	3
8	*	王 伟嘉	22	0	11	0	2
9	*	坂本 聖芽	14	2	4	0	2
10		張本 正登	—	—	—	—	—
11		植木 将太郎	—	—	—	—	—
12		根建 拓己	—	—	—	—	—
13		川井 凱	3	1	0	0	0
14		中村 拓人	0	0	0	0	0
15		Boubacar N'diaye	0	0	0	0	1
16		矢澤 樹	—	—	—	—	—
17		青木 遥平	0	0	0	0	0
18		小澤 幸平	0	0	0	0	0
TEAM/COACH			/	/	/	/	0
TOTAL			93	7	36	0	13

TEAM B 桜丘 (2位シード)

No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4		松本 開人	0	0	0	0	0
5		井上 涼	6	0	2	2	1
6	*	今田 涼斗	11	1	4	0	1
7		佐々木 駿	2	0	0	2	0
8		大林 正弥	—	—	—	—	—
9	*	富永 啓生	35	5	8	4	1
10	*	ジャイニャ クル	7	0	3	1	4
11	*	彦坂 海登	0	0	0	0	0
12		中泉 智貴	—	—	—	—	—
13		小山 時郎	—	—	—	—	—
14		渡辺 薫	—	—	—	—	—
15	*	小嶋 悠人	3	0	1	1	2
16		藤田 龍之介	—	—	—	—	—
17		原田 宗輝	—	—	—	—	—
18		大津 颯斗	—	—	—	—	—
TEAM/COACH			/	/	/	/	0
TOTAL			64	6	18	10	9

【 得点経過 】



【 戦評 】

中部大第一の強さが際立ったゲームとなった。2P以降、中部大第一は食らいつく桜丘を高い集中力で振り切り、徐々に点差を広げ見事に全国大会の切符を手に入れた。

1P 両チームともにマンツーマンディフェンスでスタート。中部大第一は⑨の1on1をきっかけにオフェンスを展開し、桜丘は⑩を基点に外からのドライブと⑨の3Pで対抗する。序盤は互角の展開で進む。桜丘は⑮のレイアップシュート、速攻から⑨の3Pが良いリズムで決まる。中部大第一は⑤⑧がリバウンド、ブロックショットでゴール下を支配し⑨がドライブと3Pを決める。中盤、中部大第一は速攻で走りこばれ球を⑤⑧が拾い確実に点を重ねる。桜丘は⑩が体を張ったディフェンスで粘り強く守り、オフェンスではシュートが落ちても⑨がチップして押し込む。中部大第一は⑨が見事なアローブショットで引き離しにかかったが、桜丘⑥⑨の連続3Pで逆転し1P終了。

2P 両チームともにマンツーマンディフェンスでスタート。序盤、桜丘⑤が良く走りレイアップシュートを狙うが決めきれない。一方で中部大第一は固いディフェンスから⑤のイージーショット、④のジャンパーが決まり、桜丘はたまたまタイムアウト。しかし中部大第一の勢いは止まらない。④から⑧へのアシストパス、④⑤のレイアップシュート、⑦の3Pと連続得点で手が付けられない。その後桜丘はディフェンスをゾーンに変更し⑤⑥の2Pと⑨が3Pで点差を詰めるが、中部大第一は強固なディフェンスで相手を圧倒。更に⑤⑧のゴール下で加し点差は縮まらず。桜丘は⑤が終了間際にジャンパーを決めて2P終了。

3P 中部大第一はマンツーマンディフェンス、桜丘はゾーンディフェンスでスタート。桜丘はディフェンスを頑張り、⑤がアグレッシブに攻めてファウルをもらうがフリースローを決めきれない。中部大第一は前半の勢いをそのままに、高い集中力でディフェンスを行いゴール下の確実なイージーバスケットを続ける。その中でも中部大第一⑤はスピントーン、リバウンド、ステップインシュートと活躍する。桜丘は⑨が気持ちの入ったディフェンスをするがファウルになる。オフェンスは⑩のアシストパスが出るが肝心のシュートが入らずリズムが掴めない。終始、中部大第一ペースで進み3P終了。

4P 中部大第一はマンツーマンディフェンス、桜丘はゾーンディフェンスでスタート。桜丘は開始早々⑩のドライブからバックダンク、⑨の2P、⑥のリバウンドで相手に追いつがる。中部大第一は⑤がオフェンスリバウンドを取るがシュートは決まらず。その後はお互いのディフェンスが機能しゲームが膠着しそのまま試合終了。

最終スコアは差が開いたが桜丘の最後まで諦めない姿勢には感動を覚えた。健闘を称えたい。

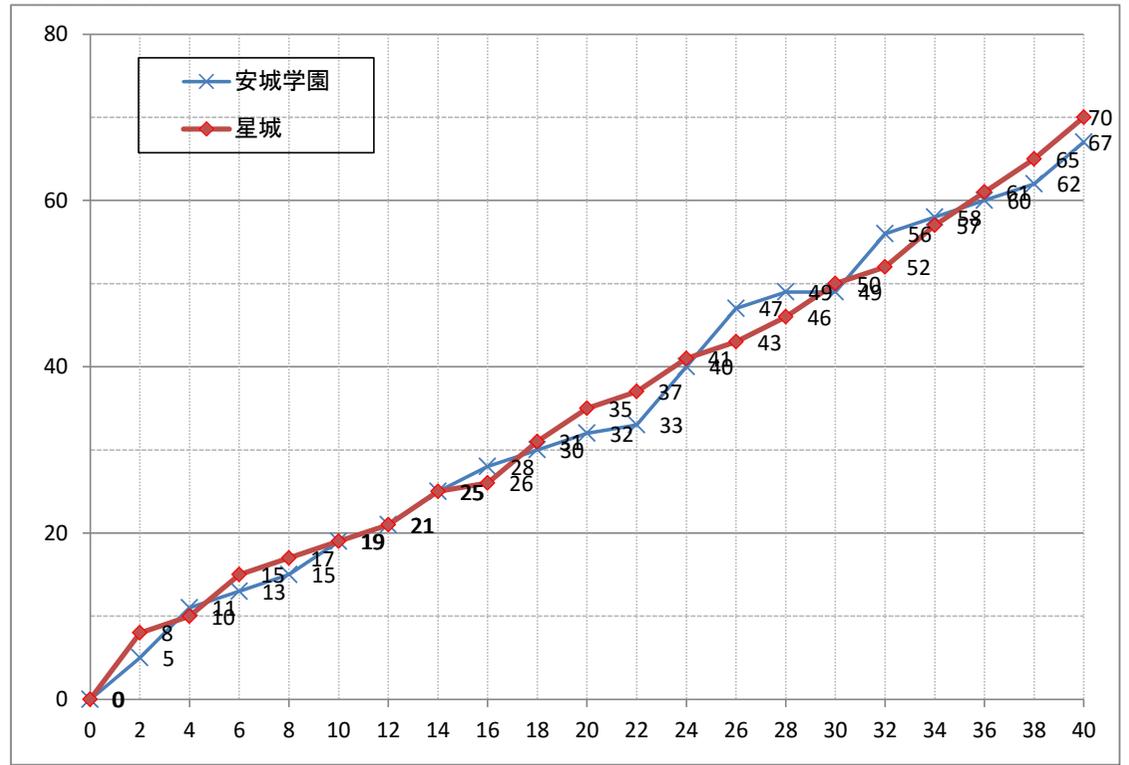
記入者 鈴木 健太郎

第47回全国高等学校選抜優勝大会愛知県大会(第4回ALL AICHI)

女子決勝	
試合日	2016年11月6日
会場	北スポーツセンター
コート	KC コート
開始時間	11:00

TEAM A	TEAM B
安城学園 (1位シード) 67	70 星城 (2位シード)
19 - 19	
13 - 16	
17 - 15	
18 - 20	
	OT

【 得点経過 】



TEAM A 安城学園 (1位シード)

No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	荻野 桜	2	0	1	0	2
5	*	岡田 真那美	13	1	5	0	3
6		出羽 汐穂	—	—	—	—	—
7	*	須田 多恵	19	3	5	0	5
8		千葉 暁絵	12	0	6	0	4
9	*	上村 菜々美	4	0	2	0	1
10		増田 里奈	—	—	—	—	—
11		那須 みらい	0	0	0	0	0
12		相澤 ひかり	0	0	0	0	0
13	*	野口 さくら	17	0	7	3	2
14		深津 彩生	—	—	—	—	—
15		穴澤 冴	—	—	—	—	—
16		エゼンバ 織沙	—	—	—	—	—
17		岩崎 萌	—	—	—	—	—
18		熊谷 秀子	—	—	—	—	—
TEAM/COACH			/	/	/	/	0
TOTAL			67	4	26	3	17

TEAM B 星城 (2位シード)

No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	米納 京香	9	1	3	0	2
5	*	大嶋 里菜	19	0	8	3	0
6		深田 侑希	—	—	—	—	—
7	*	倉橋 邑佳	16	1	5	3	1
8		望月 理沙	0	0	0	0	0
9	*	古田 未有	6	0	2	2	3
10		原口 真美子	—	—	—	—	—
11		大橋 さくら	—	—	—	—	—
12	*	浦町 華菜子	20	0	8	4	1
13		土本 詩織	—	—	—	—	—
14		平野 亜実	—	—	—	—	—
15		川上 明日香	—	—	—	—	—
16		山本 佳奈	—	—	—	—	—
17		阿部 琴美	—	—	—	—	—
18		平山 由希菜	—	—	—	—	—
TEAM/COACH			/	/	/	/	0
TOTAL			70	2	26	12	7

【 戦評 】

決勝戦は昨年度同様のカードであるが、両チーム共に厳しい準決勝勝ち抜き決勝まで駒を進めた。破ったチームの想いも抱きながら好ゲームに期待したい。

1Pディフェンスはお互いにマンツーマンディフェンスからスタート。オープニングショットは安城学園⑦のミドルシュートであったが、星城も⑦がホストプレーから体勢を崩しながらもすかさず入れ返す。ゲームの立ち上がりは両者一歩も引かない展開で、安城学園の⑤が3Pを決めれば星城の⑦も3Pを入れ返した。安城学園はボール回し鮮やかに⑦を中心としたオフェンスで得点を重ね、星城は⑤を中心としたドライブ、カットインにヒックプレーを絡め得点を重ねた。高さで勝る安城学園であったが、粘りのある星城のルースボール、リバウンドで互角の戦いを見せ19-19の同点で終えた。

2P安城学園⑨のシュートフェイントを織り交ぜた落ち着いたシュートから始まったが、星城は粘りあるリバウンド、ルースボール、安城学園のターンオーバーもありオフェンスのリズムが良くなる。星城④の3P⑦2Pで5点のリードを奪う。安城学園はマンパ・チェンジした⑧が起点となり得点を重ね。シュート後に2-1-2を仕掛け連続ポイントするが、ターンオーバーで勢いに乗り切れない。互いにリズムが作れず得点が止まる。均衡を破ったのは距離のあるシュートであったが安城学園⑦の3Pで安城学園が逆転。星城は⑤のドライブを止められるなど苦しい展開。安城学園がタイムアウトをとりさらなる突き放しを狙うが、タイムアウト後のプレーでターンオーバーなど、ミスが目立ち突き放せない。対する星城は⑫の粘り強いリバウンドで息を吹き返し得点を重ね始める。シュート率で苦しむ場面もあったが、必死にボールを追う姿勢でリズムを取り返し星城リードで前半を折り返す。

3P後半開始から安城学園は巧みなボール回しからホストプレーを有効的に使い得点を重ねるが、対する星城も安城学園のスイッチするディフェンスをうまく攻め立て⑫のスマッシュを作り出し試合の主導権を簡単にには渡さない。入れたら入れ返すの試合展開になったが、安城学園⑧の2P⑦の3P⑤のホストプレーでこの試合最大の6点差がつき、星城がタイムアウト。タイムアウトで息を吹き返した星城は⑫のゴール下のバスケットカウントを皮切りに、⑤の連続ポイントで再逆転を果たした。安城学園がリードしようとした時に、ルースボールを最後まで追うなどで諦めない粘りのある星城が逆転を許さずリードを守って3Pを終了した。

4P安城学園は⑬のホストプレーで得点すると、2-2-1のゾーンプレス仕掛け。しかし、星城は早い展開でディフェンスをかいくり⑤がドライブで得点を取り返す。その星城のオフェンスを見て安城学園は2-2-1のゾーンプレスから2-1-2への変更を選手に指示。安城学園はホストプレーで得点を重ね、星城は⑫を中心に攻め立て一進一退の展開に。均衡を破ったのは星城⑤がドライブから得点すると、意表を突くオールコートのディフェンスで安城学園からボールを奪い連続得点で5点のリードを奪うと、安城学園はたまたまタイムアウトをとる。タイムアウト後相手のオールコートディフェンスをかいくり安城学園⑧がシュートを決め3点差に差を縮めるが、得点後に仕掛けた安城学園のゾーンプレスを星城⑤が引くことなく攻め立ててすかさず2Pを入れ返す。試合時間2分を切り一つのミスが勝敗を分ける展開になる。落ち着いたパス回しから安城学園は⑤のホストプレーで2P決める。しかし、勢いのある星城は鋭いドライブから安城学園のガールを誘いリブローを奪い、これを1本決める。4点差となった。しかし、安城学園⑦が星城の厳しいディフェンスで体勢を崩すも3Pを決め1点差に詰め寄るなど最後まで勝敗がわからない展開に。残り33秒1点差で、星城がドライブをしようと、安城学園がタイムアウトを取る。安城学園は逆転を狙いサイドからのオフェンスに望みをかけるが、シュートは決まらずターンオーバーとなってしまふ。残り時間のない中で安城学園はアワルゲームに持ち込むが、最後まで落ち着きを持ち星城が3点差で勝ち切った。

準決勝から好ゲームが続いた大会であったが、最後まで諦めることなくボールを必死に追う星城高校の姿は優勝チームに相応しい姿であった。

記入者 堀 洋嘉

第48回全国高等学校選抜優勝大会愛知県大会(第4回ALL AICHI)

男子準決勝

試合日 2016年11月5日
 会場 名古屋市体育館
 コート NA コート
 開始時間 11:40

TEAM A			TEAM B		
中部大第一	97	(1位シード)	愛工大名電	67	(4位シード)
29	-	11			
22	-	21			
19	-	9			
27	-	26			
	OT				

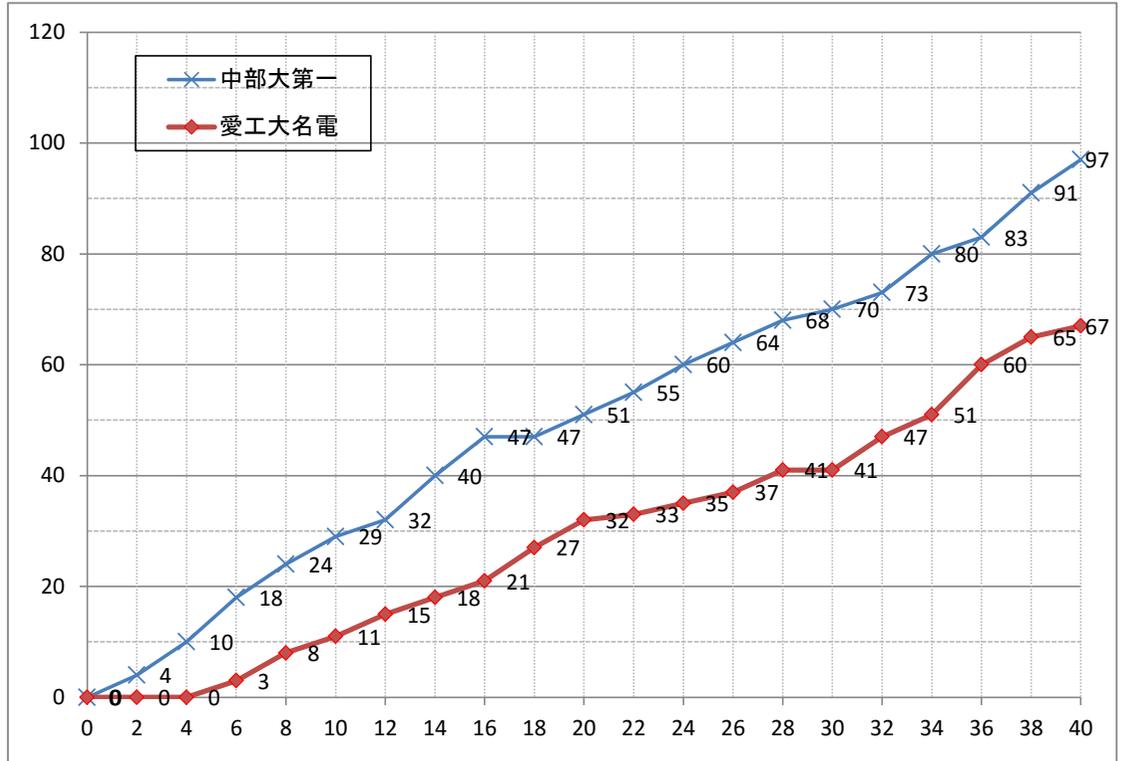
TEAM A 中部大第一 (1位シード)

No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	上澤 俊喜	2	0	1	0	2
5	*	ディクソンジュニアタリキ	14	1	2	7	2
6		小川 元暉	10	1	3	1	1
7	*	星野 京介	11	2	2	1	0
8	*	王 伟嘉	21	0	8	5	1
9	*	坂本 聖芽	18	3	2	5	2
10		張本 正登	0	0	0	0	0
11		植木 将太郎	2	0	0	2	0
12		根建 拓己	0	0	0	0	0
13		川井 凱	2	0	1	0	1
14		中村 拓人	9	1	1	4	1
15		Boubacar N'diaye	6	0	2	2	2
16		矢澤 樹	2	0	1	0	0
17		青木 遥平	0	0	0	0	0
18		小澤 幸平	0	0	0	0	2
TEAM/COACH			/	/	/	/	0
TOTAL			97	8	23	27	14

TEAM B 愛工大名電 (4位シード)

No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4		青山 哲也	—	—	—	—	—
5		マクイニス ナイキ	2	0	1	0	2
6	*	江川 誠	6	0	2	2	4
7	*	樋元 堅汰	31	4	7	5	3
8	*	石川 泰志	4	0	2	0	5
9	*	加藤 工稀	10	0	3	4	5
10	*	松本 匠早	10	2	2	0	5
11		松岡 大河	0	0	0	0	0
12		幸野 隼大	0	0	0	0	0
13		吉田 大登	0	0	0	0	2
14		桑原 和沙	—	—	—	—	—
15		松尾 和海	—	—	—	—	—
16		上田 秀太	0	0	0	0	0
17		丹羽 駿太	—	—	—	—	—
18		前田 知哉	4	0	2	0	2
TEAM/COACH			/	/	/	/	0
TOTAL			67	6	19	11	28

【 得点経過 】



【 戦 評 】

1P両チームともにマンツーマンディフェンスでスタート。中部大第一は⑧の高さを生かしたゴール下、⑨の緩急で相手ディフェンスを揺さぶるドライブ、⑦の素早いモーションから放たれる3Pと多彩な攻撃で得点を重ねていく。対する愛工大名電は、開始4分間こそノーゴールであったが、タイムアウト後には落ち着きを取り戻し、⑦の縦方向へのドライブや⑩のミートショットで応戦する。29-11中部大第一リードで1P終了。

2P愛工大名電は⑦から⑨への合わせ、⑧のブレイク、⑩の3Pとテンポよく得点につなげる。しかし、ディフェンスは中部大第一を止めることに苦戦を強いられる。中部大第一⑨のペネトレイトや⑧のリバウンドに対してどうしてもファウルがかさんでしまう苦しい展開が続く。51-32中部大第一リードで前半を終了する。

3P両チームマンツーマンディフェンスを継続する。後半になっても、中部大第一は鍛え抜かれたフィジカルで、愛工大名電オフェンスの行く手を阻む。状況を打開したい愛工大名電は、⑦がドライブや3Pと何とか攻めのきっかけを作るも、なかなか流れを掴むまでには至らない。中部大第一は⑥のブロックショット、⑮のインサイドで愛工大名電を突き放しにかかる。70-41中部大第一リードで3P終了。

4P一矢報いたい愛工大名電は⑦の3P、⑥のリバウンドショット、⑧のインサイドプレーと粘りを見せる。高さで勝る中部大第一のディフェンスに対し、果敢に攻め入る愛工大名電の選手の姿勢が幾度となく見られた。中部大第一のチーム力の高さが見られ97-67で試合終了となったが、愛工大名電の諦めない姿勢にも拍手を送りたい。

記入者 梶 邦彦

第48回全国高等学校選抜優勝大会愛知県大会(第4回ALL AICHI)

男子準決勝

試合日 2016年11月5日
 会場 名古屋市体育館
 コート NB コート
 開始時間 11:40

TEAM A		TEAM B	
桜丘 (3位シード)	75	62	安城学園 (2位シード)
16	-	20	
23	-	10	
13	-	10	
23	-	22	
	OT		

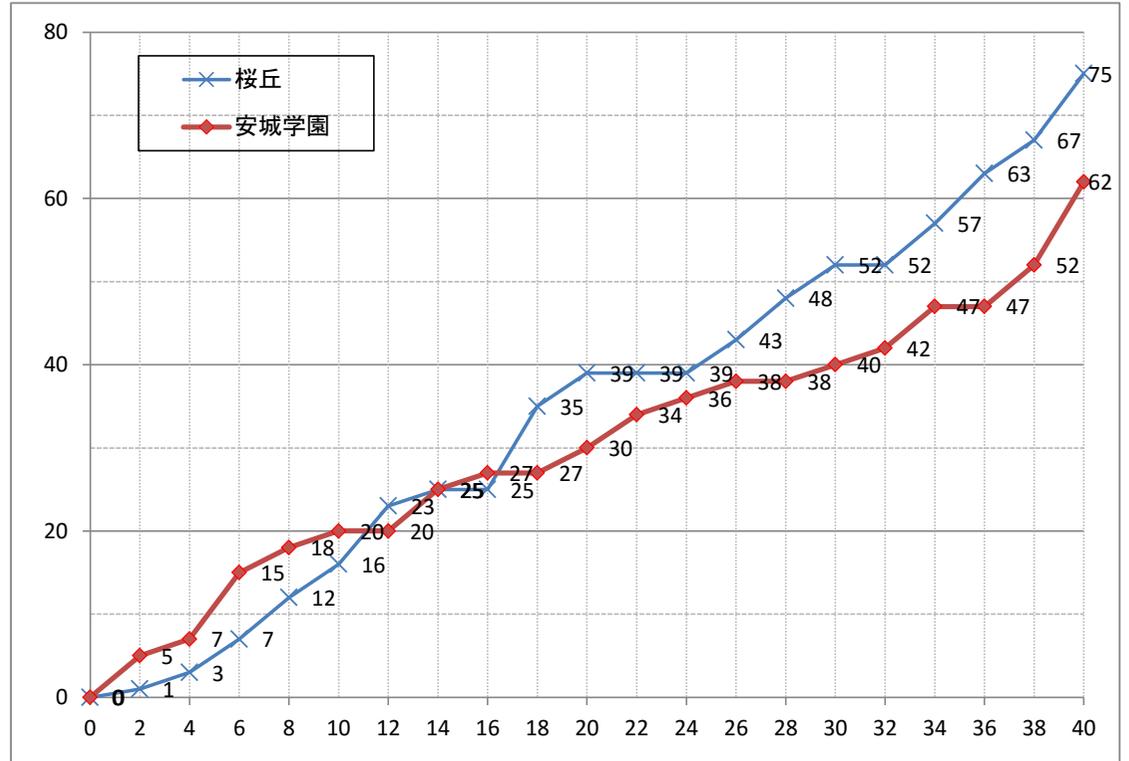
TEAM A 桜丘 (3位シード)

No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4		松本 開人	—	—	—	—	—
5	*	井上 涼	6	0	3	0	2
6	*	今田 涼斗	11	1	3	2	1
7		佐々木 駿	2	0	1	0	0
8		大林 正弥	—	—	—	—	—
9	*	富永 啓生	25	3	6	4	0
10	*	ジャイニャ クル	23	0	11	1	2
11		彦坂 海登	0	0	0	0	2
12		中泉 智貴	—	—	—	—	—
13		小山 時郎	—	—	—	—	—
14		渡辺 薫	—	—	—	—	—
15	*	小嶋 悠人	8	0	3	2	0
16		藤田 龍之介	—	—	—	—	—
17		原田 宗輝	—	—	—	—	—
18		大津 颯斗	—	—	—	—	—
TEAM/COACH			/	/	/	/	0
TOTAL			75	4	27	9	7

TEAM B 安城学園 (2位シード)

No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	山本 楓己	28	3	8	3	3
5	*	黒田 亘	8	0	4	0	5
6	*	松元 颯星	6	2	0	0	3
7		伊藤 草太	—	—	—	—	—
8	*	菅野 正和	6	0	2	2	2
9		温井 武	0	0	0	0	0
10	*	若杉 栄治	10	0	5	0	0
11		山内 海人	1	0	0	1	3
12		立森 匠	3	1	0	0	2
13		森本 空良	—	—	—	—	—
14		杉浦 史紘	—	—	—	—	—
15		石川 翔紀	—	—	—	—	—
16		加賀 太志朗	—	—	—	—	—
17		長者原 翔	—	—	—	—	—
18		藤田 稜	—	—	—	—	—
TEAM/COACH			/	/	/	/	0
TOTAL			62	6	19	6	18

【 得点経過 】



【 戦評 】

1P
 桜丘ゾーン、安城マンツーマンでスタート。桜丘⑩、安城学園⑤で得点。安城学園の激しいディフェンスの前に攻めあぐむ桜丘は開始7分、9-17でタイムアウト。その後、両チームともに思うような展開に持ち込めないまま16-20安城学園リードで1P終了。

2P
 両チームともオフェンスでのミスが目立つスタートになる。桜丘のゾーンをうまく攻略できない安城学園は2P開始1分30秒で23-20と逆転を許しタイムアウト。その後も一進一退の攻防が続くが、残3分で桜丘⑨の3P、スティールからの速攻で35-27と桜丘リード。安城学園も⑥の3Pで対抗するが39-30桜丘リードで2P終了。

3P
 安城学園の連続得点で点差を縮めるが、3P開始3分、安城学園⑤が痛恨の4ファウルでベンチに下がる。桜丘⑥のドライブイン、オフェンスリバウンドからの得点で重たいリズムを変えるきっかけとなる。次第に桜丘のドロップゾーンが冴え、安城学園の攻撃のリズムを崩し52-40桜丘リードで最終Pへ。

4P
 安城学園は④の3Pからのマンツーマンプレスで流れを変えようとするが、桜丘⑩の献身的な繋ぎに思うようにさせてもらえない。その後も安城学園は④⑥の気迫の3Pで必死に食らいつづけるが、スティールからの桜丘⑨ジャンプショットで万事休す。1年生ながら、怪我のため急遽スタメンを外れたポイントガードの代役を務めた桜丘⑮、途中交代でゲームを繋いだ⑦。また、最後まで諦めずシュートを打ち続けた安城学園④⑥。両チームの健闘を称えたい。

記入者 清水 淳

第48回全国高等学校選抜優勝大会愛知県大会(第4回ALL AICHI)

女子準決勝

試合日 2016年11月5日
 会場 名古屋市体育館
 コート NA コート
 開始時間 10:00

TEAM A		TEAM B	
安城学園 (第1シード)	64	名経大高蔵 (第4シード)	56
13	-	15	
18	-	20	
18	-	13	
15	-	8	
	OT		

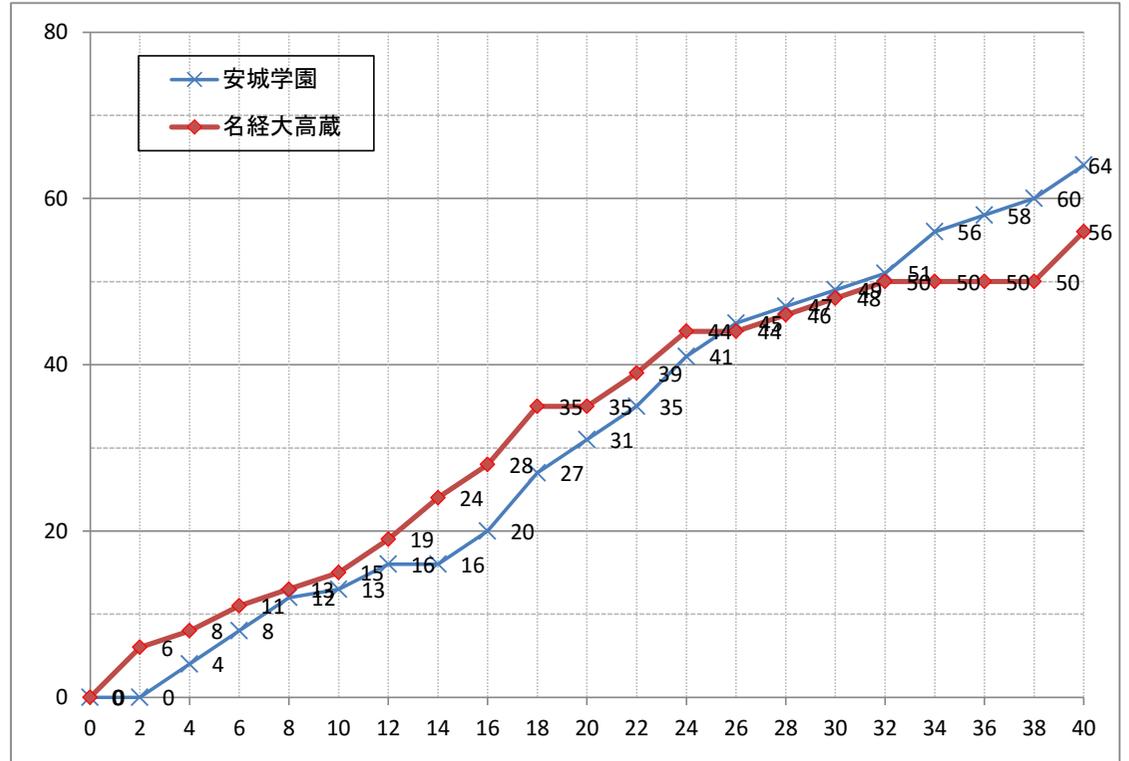
TEAM A 安城学園 (第1シード)

No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	荻野 桜	8	0	2	4	1
5	*	岡田 真那美	20	0	9	2	2
6		出羽 汐穂	—	—	—	—	—
7	*	須田 多恵	12	0	5	2	2
8		千葉 暁絵	4	0	2	0	0
9	*	上村 菜々美	0	0	0	0	0
10		柿原 千里	—	—	—	—	—
11		那須 みらい	0	0	0	0	0
12		相澤 ひかり	—	—	—	—	—
13	*	野口 さくら	20	0	9	2	3
14		深津 彩生	—	—	—	—	—
15		穴澤 冴	—	—	—	—	—
16		エゼンバ 織沙	—	—	—	—	—
17		岩崎 萌	—	—	—	—	—
18		熊谷 秀子	—	—	—	—	—
TEAM/COACH			/	/	/	/	0
TOTAL			64	0	27	10	8

TEAM B 名経大高蔵 (第4シード)

No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	堀内 香歩	9	1	3	0	3
5	*	磯部 らな	15	4	1	1	2
6		新川 まや	—	—	—	—	—
7	*	岡本 彩也加	15	0	6	3	4
8		入江 杏花	4	0	1	2	4
9		角田 沙穂	—	—	—	—	—
10	*	芦田 佳代	4	0	2	0	2
11	*	服部 紋佳	9	1	3	0	4
12		佐々木 里菜	—	—	—	—	—
13		ディクソン モニカ	—	—	—	—	—
14		伊藤 楓佳	0	0	0	0	0
15		水谷 夢帆	—	—	—	—	—
16		後藤 亜花里	—	—	—	—	—
17		松枝 杏	—	—	—	—	—
18		鈴木 歩海	—	—	—	—	—
TEAM/COACH			/	/	/	/	0
TOTAL			56	6	16	6	19

【得点経過】



【戦評】

1P両チームともにマンツーマンでスタート。名経大高蔵はシュートが決まるとオールコートマンツーマンでプレッシャーをかける。名経大高蔵はリハウンドから⑦がフリースローを決めて先制点を上げる。さらに、⑤の3Pなどが決まり、名経大高蔵が良いスタートを切る。残り7分で、安城学園⑦のハイロープレー、⑤のミドルシュートが決まるが名経大高蔵8-4とリードを続ける。安城学園がインサイドを攻め、名経大高蔵⑩が2回目のファールで交代する。残り5分名経大高蔵⑤の3Pが決まり、名経大高蔵が11-4としたところで安城学園が1回目のタイムアウト。その後、名経大高蔵のファールが増え、フリースローで安城学園が確実に得点を重ねる。残り1分安城学園④のフリースローで13-13の同点となるも、名経大高蔵⑦もフリースローを2本決めて、名経大高蔵15-13で終了。2P名経大高蔵⑦のドライブ、⑧のミドルシュートで名経大高蔵が19-13とリードを広げる。安城学園は④のバスケットカウントプレーが決まる。残り7分で名経大高蔵がタイムアウト。その後、名経大高蔵⑤のミドルシュート、3Pなどで名経大高蔵26-16と10点リードしたことで、残り5分たまたらず安城学園が2回目のタイムアウト。ここから安城学園が追い上げを見せて、⑬のドライブ、⑧のミドルシュートが決まり、名経大高蔵35-31で4点リードで終了。3P安城学園は⑦、⑬がミドルシュート、ドライブを決める。名経大高蔵は⑩のミドルシュート、⑦を起点にして④への合わせが決まり、残り7分名経大高蔵41-35となる。安城学園は⑬が得点を重ね、44-43と1点差まで詰める。残り5分安城学園がタイムアウト。その後⑬のシュートが決まり、安城学園がこの試合初めてリードを奪う。安城学園47-44となったところで名経大高蔵がタイムアウト。名経大高蔵⑦のゴール下が決まるが、パスミスが続き攻めきれず安城学園49-48で1点リードで終了。4P名経大高蔵⑩のリハウンドで一度逆転するが、安城学園⑤がすぐに入れ返す。安城学園は2-2-1のゾーンプレスを仕掛けプレッシャーをかけていく。安城学園は⑦と⑤が得点を重ねるが、名経大高蔵はシュートが決まらない。残り5分、安城学園58-50となったところで名経大高蔵タイムアウト。残り2分をきり、名経大高蔵④、⑤が3Pを決めるが安城学園は最後まで落ち着いてボールを回し、安城学園64-56で勝利をおさめ、決勝進出を決めた。

記入者 長谷川 和仁

第48回全国高等学校選抜優勝大会愛知県大会(第4回ALL AICHI)

女子準決勝

試合日 2016年11月5日
 会場 名古屋市体育館
 コート NB コート
 開始時間 10:00

TEAM A			TEAM B		
中部大第一 (第3シード)	67		70	星城 (第2シード)	
17	-	16			
6	-	20			
20	-	13			
24	-	21			
	OT				

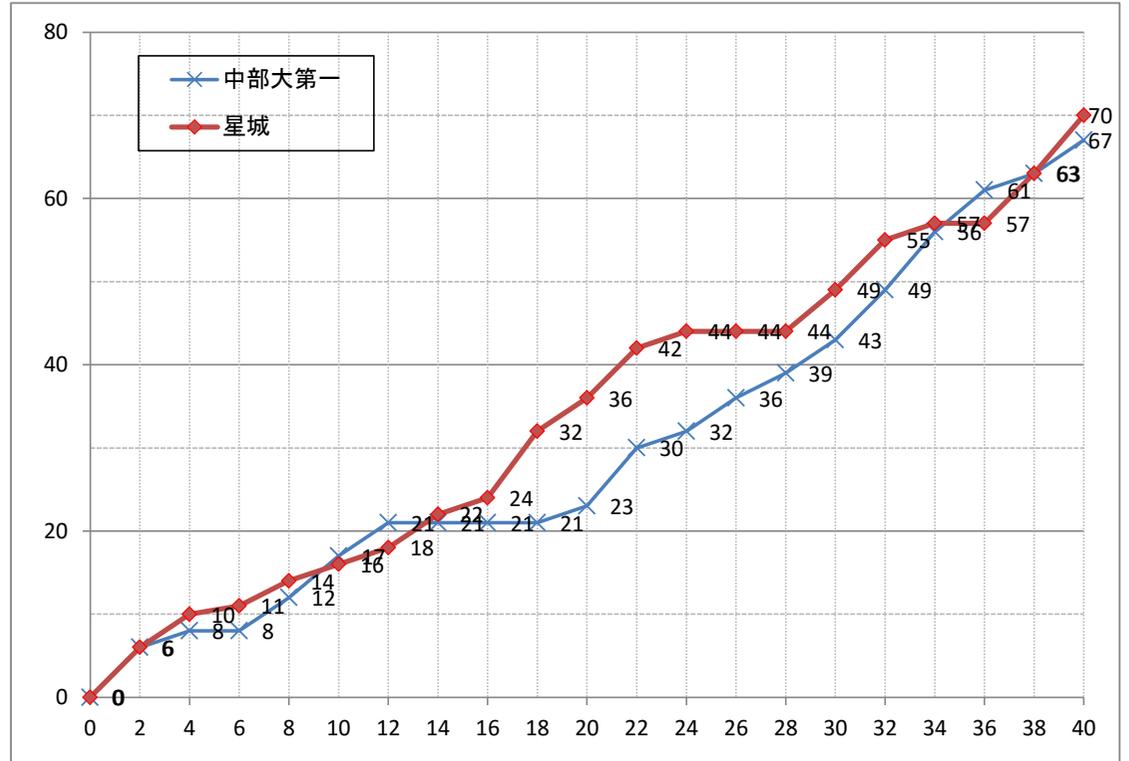
TEAM A 中部大第一 (第3シード)

No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	坂本 優奈	13	3	2	0	2
5		深谷 優	—	—	—	—	—
6	*	藤本 奈夕	15	1	6	0	2
7		稲尾 友里愛	0	0	0	0	0
8	*	宮西 莉沙	12	0	6	0	3
9		渡瀬 ゆうか	—	—	—	—	—
10	*	荒川 華穂	12	0	5	2	4
11		生田 菜摘	—	—	—	—	—
12		岡 夏帆	—	—	—	—	—
13		長江 萌子	—	—	—	—	—
14	*	森 愛里	15	1	6	0	0
15		稲熊 里南	—	—	—	—	—
16		小澤 桃香	—	—	—	—	—
17		橋村 新菜	—	—	—	—	—
18		福井 実咲	—	—	—	—	—
TEAM/COACH			/	/	/	/	0
TOTAL			67	5	25	2	11

TEAM B 星城 (第2シード)

No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	米納 京香	12	2	3	0	1
5	*	大嶋 里菜	14	1	4	3	3
6		深田 侑希	—	—	—	—	—
7	*	倉橋 邑佳	18	0	9	0	0
8		望月 理沙	—	—	—	—	—
9	*	古田 未有	10	0	5	0	2
10		原口 真美子	—	—	—	—	—
11		大橋 さくら	—	—	—	—	—
12	*	浦町 華菜子	16	0	7	2	2
13		飯富 有紗	—	—	—	—	—
14		平野 亜実	—	—	—	—	—
15		川上 明日香	—	—	—	—	—
16		山本 佳奈	—	—	—	—	—
17		阿部 琴美	—	—	—	—	—
18		平山 由希菜	—	—	—	—	—
TEAM/COACH			/	/	/	/	0
TOTAL			70	3	28	5	8

【 得点経過 】



【 戦評 】

1P両チームともマンツーマンディフェンスでスタート。中部大第一は#8の連続ポイントで勢いに乗り、リバウンドから流れをつかみ、3Pシュートやドライブの合わせなど、効果的な攻撃を展開する。対する星城は、ピックプレーからインサイドを中心に攻撃を組み立て、ミスマッチを狙おうとするが、中部大第一の激しいディフェンスになかなか得点が伸びない。お互いに得点を許さない時間が続くが、残り2分、中部大第一#4の3Pシュートで逆転。星城も#12のプザービーターが決まり17-16中部大第一1点リードで終了。2P中部大第一#6のドライブからのシュートでスタート。しかし、その後はなかなかシュートが決まらない。対する星城はインサイドのミスマッチを生かした攻撃が少しずつ決まりはじめる。両チームともオフェンスリバウンドを取るが、得点に結びつかない時間が続くものの、星城は中盤から#9のジャンプシュートや速攻が決まり、23-36星城13点リードでハーフタイムを迎える。3P序盤から中部大第一#6や星城#7のジャンプシュートが決まり、激しい点の取り合いが続く。中盤は星城の得点が止まりはじめ、対する中部大第一は#14の速攻や3Pシュートが連続で決まり、一気に点差を縮める。その後も中部大第一#14はジャンプシュートを効果的に決め、点差を6点差に縮めた。43-49星城リードで終了。4P星城#4がジャンプシュートを決めると、中部大第一は#4が応戦。激しい点の取り合いが続くが、中部大第一は#6のドライブ、#14の3Pシュートで逆転する。ここでたまたま星城はタイムアウトを取る。すると星城は#7のゴール下、#5のドライブで同点にする。星城はオールコートでプレッシャーをかけるが、中部大第一も落ち着いてパスを回していく。両チームとも気迫でシュートをねじ込んでいくが、試合を決めたのは星城#4の3Pだった。残り24秒、長い距離の3Pは綺麗な放物線を描き、リングに吸い込まれていった。中部大第一はファールゲームにいくが、点差は縮まらない。中部大第一は#4の3Pシュートに同点の思いを託すが、無情にも外れ試合終了。激しい戦いは67-70で星城の勝利に終わった。最後までどちらが勝つか分からない、息をのむ展開が続く好ゲームであった。

記入者 高尾 聡